

# 活動報告書

2024年12月 市川素

2024年も終わりです。今年1年も本当にお世話になりました。

## 今月の主な活動

12月に入ってからは下仁田ネギを収穫&出荷しました。今年はお蚕さんと同様に夏の暑さと秋の大雨で下仁田ネギも甘楽富岡地域全体で不作の年となりました。私が育てた下仁田ネギも例に違わず厳しい結果に。それでも夏の暑さ、秋の大雨と病害虫、おまけに鹿に踏まれ食われても耐えたネギたちを出荷することができました。今年寒暖差が大きかった分、昨年よりもおいしいネギになったような気がします。

それにしても、養蚕をやりながら他の作物を育てるのは容易ではないなと実感する1年でした。大桑の時に1週間ネギをほったらかすと雑草に飲まれ、虫に食われ、いつも慌てて対応する羽目になりました。昔はもっと蚕の規模も大きく、米も畑もやっておまけに牛や豚も育てていたと聞いて、昔の方はどんな生活をしていたのだろうと、頭を垂れる日々です。



下仁田ネギの収穫の合間には、近隣の農家さんで、ビニルハウスの被覆作業のお手伝いをしてきました。こちらの農家さんは冬の間、小松菜やパクチーなどの葉物野菜をハウス

で栽培されているのですが、実際に作業を試みて私自身もハウス栽培に強く惹かれました。養蚕をしているとお蚕のいる時期はどうしても他の作物の作業ができないため、養蚕のシーズンが終わってから作業ができるハウスの葉物栽培は養蚕との複合経営を考えるうえで、良いアイデアかなと思いました。来年以降の経営を考えるうえで、新たな気付きを得られるよい機会になりました。



12月はその他にも、下仁田ネギの苗床へのトンネル被覆作業、市が企画する経営改善セミナーへの参加、蚕糸技術センターとの情報交換会等、慌ただしく日々が過ぎてしまいました。2025年も引き続きよろしくお願ひします。



(\*本記事の記載内容は全て私見によるものであり富岡市の公式見解ではありません)